

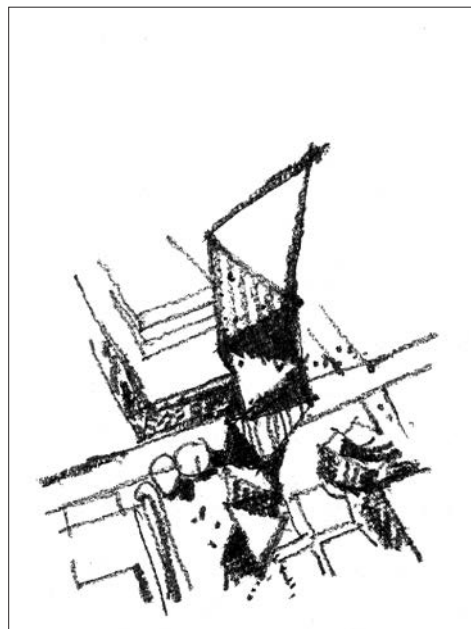


MITO ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

(2023～2024年度 国際ロータリー・テーマ)



世界に希望を生み出そう



「アート・タワー・ミト」

旅に出掛けてみませんか？

成田 浩明（工場管理職）

長いコロナ禍も明けて、観光地ではオーバーツーリズムが囁かれている。皆さまも久しぶりに旅に出たいのではないかと私事ではございますが、ふらっと大した目的も無くひとり旅で飛行機の予約をしたりする。初めて訪れる先ではどんな出会いがあるのかも愉しみの1つである。現地に着くとまずは最初に街を歩いてみる。酒の肴が旨そうな小料理屋などを探し出すのが目当てだ。地元の呑み助が集まり着物姿の女将がカウンターで迎えてくれたら中である。いつもとはいかないが、盃を交わして心知れた現地の方に次の日、街を案内していただいたことがある。旅先では素性が知れない分、裸のお付き合いとなる。その中には30年近く交流が続いている方もいるので、もはや馴染みである。何を書き綴っているのか？先に目的も無く書いたが、結局は場所を替えて呑んでいるだけなので話題を改新してみよう。

明瞭な目的があり行き先を探すときもある。その目的はアクティビティーである。さまざまあるがラフティング～激流下りに魅了され

た時期があった。雪代（ゆきしろ）とは冬の間山につもった雪が溶けて流れ出た水であり、この雪代が川に流れだす春先がラフティングのトップシーズンとなる。雪解け水で増水した激流は命がけではと心配されるかもしれないが、インストラクターが付くのでおおかた大丈夫と思われる。ラフトと呼ばれるゴム製のボートには2人乗りの小型と8人用の大きなものがあるが小さい方がスリル満点だ。ラフトを漕ぎ始めて暫くすると激流のホワイトウォーターが待ち受ける。凄まじい轟音と水しぶきを近距離から味わうと、なんとも爽快で日常を忘れる。激流を下りきった達成感も心地よい。ラフトの上では視線が低くなり景観も愉しむことが出来る。流れの穏やかな下流ではそびえ立った岩肌から流れ出る滝浴びを楽しんでみたり、絶壁によじ登って川へ飛び込むダイブも体験できる。来春あたりに思い切って出掛けられては如何だろうか？お勧めは、北海道富良野・徳島県三好あたりであろうか？

No. 20 2023・12・26

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 清水 洋一 ■幹事 土子 仁志

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

◇ 外部環境を踏まえたアサヒビールの取組

中村 大地 会員



私は1968年8月20日生まれの55歳、兵庫県尼崎生まれ千葉県船橋市で育ちました。家族は妻、長男・長女そして長男の嫁と孫が一人おります。高校卒業後、環境的制約もあり昼は魚屋・大工で働

きながら夜学を卒業しました。バブル末期の世の中で売り手市場だった事も相まって大学卒業後、運よく大好きなお酒の業界へ就職。10年間、和酒（日本酒・焼酎）の営業を経て、現在のアサヒビールへ転籍し23年になります。入社してからは一貫して業務用・外食の営業を横浜、東京、埼玉、茨城と首都圏近郊で経験して参りました。

(アサヒビール企業概要／原文省略)

国内事業を取り巻く環境は様々な要因が絡み合い大変厳しい状況が続いてます。中でも国内の人口減少、それに伴う飲酒人口の減少は最も大きな影響を与えます。お酒を飲む人の人口は2020年4280万人から30年3510万人、45年2640万人と向こう20年で約40%減と推計され、国内酒類の市場規模は20年3.4兆円から2.7兆円まで縮小する見込みです。アサヒビールは避けては通れない厳しい環境下の将来に向け、2020年より「Value（価値）経営」へと大きく舵を切り「新たな発想でお客様の為の価値や新市場の創造を目指す」と長期ビジョンを定めました。これを踏まえ2つの取組事例をご紹介します。

◆ うまい！樽生への取組

1つ目は、弊社商品をご愛飲頂いているお客様の満足度（プレゼンス）を上げて行く活動です。皆様が普段飲まれている生ビールは、最後の提供・管理によって、その美味しさは劇的に変わります。「本当にうまい生ビールを飲んで頂きたい」この想いに賛同いただける飲食店様を増やす事、また飲んで頂いた皆様が思わず笑顔になってしまう、そんなシーンが数多くみられる活動に注力してゆきます。

◆ スマドリへの取組

2つ目はお酒を飲めない人や、飲まない人も含めた幅広いお客様に対するアプローチです。多様な価値観の共存が求められる昨今、これからは飲める人・飲めない人が共存してゆく時代。好きなドリンクを手に誰もが自分らしく、誰もが共に楽しめる未来へ。体質や気分に合わせて自由な飲み方、それがスマートドリンクングです。吉本興業とのコラボによる情報発信を通じ認知拡大に注力してゆきます。

水戸RCの皆さまにも守谷市にある工場見学を通じ、新たな取組をより身近に感じて頂ける場を設けたいと考えております。

◇ 『旅のススメ』～世界最高の国はどこ？～

筒井 博基 会員



3月入会のJTB水戸支店長の筒井博基と申します。長崎市出身、4人家族、実家は45年間喫茶店、剣道&弓道初段、趣味は料理と食歩、信条は“やらずに後悔するよりやっ

て後悔せよ”の寅年49

歳です。小中高と長崎で過ごし、福岡大学では100名程の男子寮で4年間学びました。その後、1998年に㈱日本交通公社に入社、福岡からJTB人生がスタートしました。3年目から長崎へ異動し7年間教育営業を担当し、JTBが15社へ分社化した為、2007年から東京へ転籍し法人営業を16年間勤め、そして本年2月より現職に至ります。

『旅とは住む土地を離れて、一時他の土地に行くこと』（広辞苑）とあります。古くから旅はありましたが、旅行会社の始まりは1905年伊勢神宮と高野山の参拝団からで、弊社は1912年ジャパン・ツーリスト・ビューローとして創業し今年111年目となります。

現在は3事業を中心に計130社のグループ会社を含め約2万人弱の社員で世界中のネットワークを維持し、コロナ回復需要を社員一丸となって営業活動をしております。

私の渡航歴は、日本国内は全県制覇、海外は20か国程ですが、若い頃から多岐に渡る添乗にお客様と行かせてもらえた事は生涯の糧です。

勤務26年間、心に残っている仕事が3つあります。1つ目は東日本大震災時の仮設住宅設置におけるスタッフの宿泊確保です。現地支店と協力し0室から4000室利用まで確保し、東北の役に少しでも立てればという思いで頑張った仕事でした。2つ目は2014年の米マスターズゴルフ観戦の添乗です。入場手配やホテル確保が難しいツアーでしたが、最終18番ホールで優勝者パッパ・ワトソンとハイタッチできた事は貴重な体験でした。最後は、某企業の10

億円をかけた豪華ロシアツアーです。全てにこだわり、通常できない施設貸切、最高の食事とホテルを手配し最高のおもてなしを実現したツアーで自身も最高の経験となりました。

ここまで話して、私が思う“世界最高の国とは…やはり日本です。”帰国時に感じるあの安堵感と日本食の美味しさ、改めて感じる日本の良さ、これに尽きます。よって私が勝手に定義したのは、“旅とは日常のリセット”であるという事です。好きな国はあっても、やっぱり落ち着く日本や我が家が最高だと思いつつ、明日より長崎に帰省します。

皆様も良いお年をお迎えください。

例会報告

12月第4例会

司会 大月委員

◇ 退会挨拶

鯉沼 弘之 会員



この12月末をもって水戸RCを退会させていただきます。退会理由は今期末で会社役員を退任、会社も退社することになったからです。6年半の期間、皆様には大変お世話になりました。住まいは水戸ですので、飲み会ゴルフ等にお誘いいただければ幸いです。最後に水戸RCに在籍させていただいたことに感謝すると共に、皆様の発展を心から願っております。

◇ 会長の時間

清水会長

鯉沼会員本当に残念ですが、在籍中は水戸RCの為に本当にありがとうございました。水戸にお住まいとのことですので、ぜひお声がけさせていただきます。

もう半年が過ぎようとしております。公私ともども色々あった年でしたが、皆様のご協力をいただき、大久保ガバナー地区大会も行え、クラブ運営もなんとかやってこれたかなと思います。年は変わりますが、変わらぬご支援をお願いいたします。

先日の第3分区ロータリーデーで行いました、ポリオ根絶募金活動が目標金額に少し足りないの、本日皆様にご協力をお願いしたいと思います。

今週の先人に学ぶですが、松下幸之助氏です。「人と比較して劣っているといっても、決してはずることではない。けれども、去年の自分と今年の自分とを比較して、もしも今年が劣っているとしたら、それこそ恥ずべきことである。」

◇ 出席報告

小泉委員

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
130名	77名	53名	64.17%

前週訂正出席率 73.77%

◇ 会員メイクアップ

12/23 次年度ラーニング委員・ガバナー補佐会議
大久保博之、高原 裕

12/24 第3分区ロータリーデー
大久保博之、高原 裕、増山 英和、
清水 洋一、土子 仁志、川名 信博

◇ にこにこBOX

山口(晃)委員長

鯉沼会員……6年半ありがとうございました。

清水会員……2023年ありがとうございました。

来年もよろしくお願い致します。

中村会員……今年一年お世話になりました。本日卓話よろしくお願い致します。

内藤会員・藤田会員・齊藤(佳)会員……今年一年大変お世話になりました。良いお年をお迎

え下さい。
川名会員……今年もありがとうございました。
片岡会員・香嶋会員・秋葉会員……今年一年ありがとうございました。来年も宜しくお願いします。
衣笠会員・海野会員・中庭(忠)会員・本多会員・笹島会員……今年一年お世話になりました。
牧会員……「年会費 毎回カレーで キックバック」やはり無理かな。でもカレーは旨い！月1でリクエストしたい。
二川会員……鯉沼さんお元気で！また遊んで下さい。
佐藤会員……今年もお世話になりました。鯉沼さんお疲れ様でした。
照沼会員……良い年にしてください。
谷川会員……来年は皆様にとって良い年であります様に。
川崎会員……鯉沼会員お疲れ様でした。
山口(晃)会員……鯉沼さん寂しいです。

本日の合計	22件	120,000円
12月の合計	55件	315,000円
累 計	272件	1,588,000円

◇ 幹事報告

土子幹事

1. 1月定例理事会が開催されます。役員理事の方々ご出席お願いいたします。

と き 2024年1月9日(火) 11:30

ところ 例会場

- 議 題
- 1) 新会員候補者審議について
 - 2) 新会員候補者所属委員会について
 - 3) 事務局通信機器について
 - 4) 1月・2月例会プログラムについて
 - 5) 会計報告
 - 6) その他

2. 新年家族会が開催されます。未返信の方は、至急事務局までお知らせください。

と き 2024年1月16日(火) 受付 17:00
プログラム

新年祈願 18:00 宮本 章 宮司

例 会 18:25

卓 話 紙切り芸 林家 八楽氏
漫才・コント マリア

ところ 山口楼 本店

会 費 お一人 12,000円

3. 10月の理事会にて、正式に例会場が、常陽銀行本店8階大会議室よりホテルテラス ザ ガーデン水戸に移ることとなり、地区、ロータリーの友事務所、RIに連絡いたしました。コロナ禍にて常陽銀行会議室での会合が不可能となり、今年度常陽銀行からのご要望により、例会場が変更となりました。水戸RCの創立当時の例会場は、勸業銀行水戸支店、その後常陽銀行三の丸別館、商工ビル、1965年8月24日に常陽銀行本店が落成して依頼、常陽銀行本店8階大会議室が例会場となりました。最後の例会は、高沢年度の2020年3月3日でした。

永年にわたり常陽銀行には例会場を提供していただき深く感謝申し上げます。

4. 地区大会記念品として配布された「見て覧(ミテラン)」を頂いていない会員は、事務局までお申し出下さい。

5. 近隣クラブ例会場時間変更及び休会のお知らせ

水戸市内5RCの例会は、12月28日(木)より2024年1月8日(月)まで定款第7条第1節により休会となります。

*事務局は、12月29日(金)より2024年1月4日(木)までお休みとなります。



週報担当 佐藤平八郎 委員長

例 会 予 告

1月16日(火)

新年家族会 於 山口楼本店
卓話「紙切り芸」

林家 八楽氏

1月23日(火)

ー イニシエーションスピーチ ー

山本健二郎 会員

井上 健 会員

1月30日(火)

ー イニシエーションスピーチ ー

桑名 朝子 会員

酒井信之介 会員

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……